



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 信越化学工業株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4063

URL <http://www.shinetsu.co.jp/>

代表者 代表取締役社長 森 俊三

問合せ先責任者 取締役経理部長 笠原 俊幸

TEL (03) 3246 - 5051

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 平成23年11月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	521,368	△2.1	80,411	5.6	84,330	3.9	51,040	△18.1
23年3月期第2四半期	532,562	27.6	76,143	43.8	81,203	45.5	62,342	75.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 52,228百万円(122.7%) 23年3月期第2四半期 23,450百万円(-)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	120.21	—
23年3月期第2四半期	146.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,817,471	1,499,500	80.2	3,431.67
23年3月期	1,784,166	1,469,429	80.0	3,360.39

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,457,069百万円 23年3月期 1,426,808百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
24年3月期	—	50.00			
24年3月期(予想)			—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,065,000	0.6	155,000	3.9	165,000	2.9	102,000	1.9	240.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいた記述であり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社及び当社グループ会社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レートなどが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	24年3月期2Q	432,106,693株
	23年3月期	432,106,693株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,511,666株
	23年3月期	7,510,657株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	24年3月期2Q	424,595,446株
	23年3月期2Q	424,600,433株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であり、あります。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(5) セグメント情報	P. 9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、アジア地域では中国やインドで内需を中心に景気拡大の動きが続いた一方で、欧米では景気回復に停滞感が見られ、需要家の多くが先行きを警戒する状況が続きました。日本経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により、依然として厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きも見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、世界の幅広い顧客への積極的な販売活動を展開するとともに、経営基盤の強化、生産の効率化や新規製品の開発に努めてまいりました。

なお、東日本大震災により操業の停止を余儀なくされました、当社の鹿島工場、信越半導体㈱の白河工場は、グループの総力をあげた取組みにより、被災した全ての生産拠点の復旧が6月末に完了いたしております。

当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、売上高は、前年同期に比べ2.1% (111億9千4百万円) 減少し、5,213億6千8百万円となりました。営業利益は、前年同期に比べ5.6% (42億6千8百万円) 増加し、804億1千1百万円となり、経常利益も、前年同期に比べ3.9% (31億2千7百万円) 増加し、843億3千万円となりました。

また、当第2四半期連結累計期間の四半期純利益は、前年同期において移転価格課税に対する日米相互協議の合意による過年度法人税等の戻り入れがあった一方、当第2四半期連結累計期間において東日本大震災による特別損失を計上したことなどにより、前年同期に比べ18.1% (113億2百万円) 減少し、510億4千万円となりました。

塩ビ・化成品事業

塩化ビニルは、米国住宅市場の長期的な低迷が続く中で、米国シンテック社が世界中の顧客への拡販により高水準の出荷を継続し、業績を大きく伸長させました。また、オランダのシンエツPVC社も出荷が堅調に推移しました。一方、国内事業は、東日本大震災により鹿島工場が操業停止していた影響や、第2四半期連結累計期間後半にかけて需要家の生産調整の影響もあり、厳しい状況が続きました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ9.3% (136億1千1百万円) 増加し1,601億1千7百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ44.2% (41億3百万円) 増加し133億7千9百万円となりました。

シリコーン事業

シリコーンは、国内販売では電気、電子、化粧品用などが堅調に推移し、東日本大震災後に停滞していた自動車用でも回復が見られました。また、海外では機能製品が堅調に推移した一方で、汎用品が中国などアジア市場での価格低迷の影響を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ1.8% (12億7千6百万円) 減少し704億4千3百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ0.6% (1億1千3百万円) 減少し174億1千7百万円となりました。

機能性化学品事業

セルロース誘導体は、国内事業が医薬用製品や工業用製品を中心に堅調に推移しました。ドイツのSEタイローズ社は、建材用や塗料用製品で欧州市場の需要回復もあり出荷が堅調でした。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ5.2% (21億1百万円) 増加し422億4千3百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ17.1% (10億2千6百万円) 増加し70億2千万円となりました。

半導体シリコン事業

半導体シリコンは、当第2四半期連結累計期間の前半は、被災した白河工場の早期復旧に取り組むとともに、他拠点での増産や在庫品の出荷で対応して参りました。後半は、需要が急速に悪化した半導体デバイスメーカーの在庫調整の影響を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ12.8%(182億4千4百万円)減少し1,241億7千万円となり、営業利益は、前年同期に比べ0.4%(9千3百万円)増加し210億8千3百万円となりました。

電子・機能材料事業

希土類磁石は、ハイブリッド自動車や省エネルギータイプのエアコン向けの出荷が好調でしたが、原料価格の急激な上昇の影響を受けました。フォトレジスト製品は、半導体デバイスの微細化の進展もあり堅調に推移し、高輝度LED用パッケージ材料も堅調でした。合成石英製品は、液晶用大型フォトマスク基板の出荷が堅調でしたが、光ファイバー用プリフォームは震災による鹿島工場の操業停止の影響を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ9.9%(68億7千9百万円)増加し764億8千3百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ3.9%(7億1千2百万円)増加し187億4千5百万円となりました。

その他関連事業

信越ポリマー社の携帯電話用キーパッドが、タッチパネル方式のスマートフォン(高機能携帯電話)の普及の影響などもあり低調に推移し、半導体ウエハー関連容器は震災復旧に関連した出荷が一巡した後は振るいませんでした。エンジニアリング事業は堅調でした。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期に比べ22.9%(142億6千4百万円)減少し479億9百万円となり、営業利益は、前年同期に比べ34.5%(14億3千5百万円)減少し27億2千5百万円となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

今期の見通しにつきましては、世界経済は欧州債務危機などを背景にした減速懸念により先行きは不透明であり、予断を許さない状況にもあります。そのような中で国内でも、雇用情勢の悪化やデフレの影響も懸念されるなど、厳しい状況が予想されます。

当社グループは、直面する厳しい事業環境に対応するため、世界の幅広い顧客に積極的な販売活動を展開するとともに、特長ある製品を開発し新たな需要を開拓してまいります。また、技術や品質の向上に注力するとともに、原材料の安定的な確保に努めるなど、磐石な事業基盤の構築をめざしてまいります。

業績予想(平成23年7月26日発表)に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	244,002	253,208
受取手形及び売掛金	270,499	263,345
有価証券	116,714	103,174
たな卸資産	188,283	238,334
その他	70,962	69,843
貸倒引当金	△2,534	△2,317
流動資産合計	887,927	925,589
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	252,229	341,772
その他(純額)	368,104	283,528
有形固定資産合計	620,334	625,300
無形固定資産	14,020	14,216
投資その他の資産		
投資その他の資産	261,921	252,382
貸倒引当金	△38	△18
投資その他の資産合計	261,883	252,364
固定資産合計	896,238	891,881
資産合計	1,784,166	1,817,471

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	110,753	120,130
短期借入金	8,712	13,237
未払法人税等	21,072	19,018
災害損失引当金	24,401	8,584
その他の引当金	2,433	2,485
その他	82,061	89,749
流動負債合計	249,434	253,206
固定負債		
長期借入金	5,548	1,245
引当金	14,498	15,083
その他	45,255	48,435
固定負債合計	65,302	64,765
負債合計	314,737	317,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	119,419	119,419
資本剰余金	128,177	128,177
利益剰余金	1,376,043	1,405,854
自己株式	△40,917	△40,921
株主資本合計	1,582,724	1,612,530
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,275	△703
繰延ヘッジ損益	895	655
為替換算調整勘定	△160,087	△155,412
その他の包括利益累計額合計	△155,916	△155,461
新株予約権	3,822	3,599
少数株主持分	38,798	38,831
純資産合計	1,469,429	1,499,500
負債純資産合計	1,784,166	1,817,471

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	532,562	521,368
売上原価	402,854	389,949
売上総利益	129,708	131,419
販売費及び一般管理費	53,564	51,007
営業利益	76,143	80,411
営業外収益		
受取利息	1,378	1,568
持分法による投資利益	7,084	4,788
その他	7,005	9,098
営業外収益合計	15,467	15,455
営業外費用		
為替差損	8,954	10,750
その他	1,453	786
営業外費用合計	10,407	11,536
経常利益	81,203	84,330
特別損失		
災害による損失	—	5,312
投資有価証券評価損	—	1,168
特別損失合計	—	6,481
税金等調整前四半期純利益	81,203	77,849
法人税、住民税及び事業税	22,973	21,603
過年度法人税等	△10,698	—
法人税等調整額	5,695	4,734
法人税等合計	17,970	26,337
少数株主損益調整前四半期純利益	63,233	51,511
少数株主利益	890	471
四半期純利益	62,342	51,040

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	63,233	51,511
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,140	△4,264
繰延ヘッジ損益	△157	△424
為替換算調整勘定	△32,371	5,336
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,113	69
その他の包括利益合計	△39,782	717
四半期包括利益	23,450	52,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,616	51,495
少数株主に係る四半期包括利益	△165	733

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	81,203	77,849
減価償却費	45,318	39,568
受取利息及び受取配当金	△2,168	△2,530
持分法による投資損益(△は益)	△7,084	△4,788
売上債権の増減額(△は増加)	△15,810	8,596
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,745	△49,525
仕入債務の増減額(△は減少)	19,524	8,935
その他	7,150	10,160
小計	132,879	88,264
利息及び配当金の受取額	7,198	6,401
利息の支払額	△211	△260
法人税等の支払額	△16,790	△21,754
法人税等の還付額	9,600	—
災害損失の支払額	—	△11,721
営業活動によるキャッシュ・フロー	132,676	60,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	1,031	1,791
有形固定資産の取得による支出	△64,619	△41,260
投資有価証券の取得による支出	△3,210	△622
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,563	34
その他	△7,244	△4,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70,479	△44,657
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△98	810
長期借入れによる収入	—	1,157
長期借入金の返済による支出	△905	△1,659
配当金の支払額	△21,230	△21,229
その他	△341	△651
財務活動によるキャッシュ・フロー	△22,574	△21,574
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,889	△2,011
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	37,733	△7,314
現金及び現金同等物の期首残高	270,443	302,285
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	489	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	308,666	294,971

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1. 当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	塩ビ・ 化成事業	シリコーン 事業	機能性 化学品事業	半導体 シリコン事業	電子・機能 材料事業	その他 関連事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	160,117	70,443	42,243	124,170	76,483	47,909	521,368	—	521,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,014	2,174	4,203	0	1,520	32,895	42,809	(42,809)	—
計	162,131	72,618	46,447	124,171	78,004	80,805	564,178	(42,809)	521,368
セグメント利益 (営業利益)	13,379	17,417	7,020	21,083	18,745	2,725	80,371	39	80,411

(注)セグメント間取引消去によるものです。

2. 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	塩ビ・ 化成事業	シリコーン 事業	機能性 化学品事業	半導体 シリコン事業	電子・機能 材料事業	その他 関連事業	計		
売上高									
外部顧客への 売上高	146,506	71,719	40,142	142,414	69,604	62,173	532,562	—	532,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,198	2,007	3,125	2	1,325	39,630	55,289	(55,289)	—
計	155,705	73,726	43,268	142,417	70,930	101,804	587,852	(55,289)	532,562
セグメント利益 (営業利益)	9,276	17,530	5,994	20,990	18,033	4,160	75,987	156	76,143

(注)セグメント間取引消去によるものです。

各セグメントに属する主要製品・サービス

セグメント	主要製品・サービス
塩ビ・化成事業	塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン
シリコーン事業	シリコーン
機能性化学品事業	セルロース誘導体、金属珪素、ポバール、合成性フェロモン
半導体シリコン事業	半導体シリコン
電子・機能材料事業	希土類磁石(電子産業用・一般用)、半導体用封止材、LED用コート材、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル
その他関連事業	樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。